

# 都市再生整備計画(第3回変更)

つちゆおんせんまちちく  
土湯温泉町地区

ふくしまけん ふくしまし  
福島県 福島市

平成29年12月



## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p><b>整備方針1 安心と快適が実感でき歩いて楽しめるネットワークの形成</b></p> <p>①安心と快適が実感できる歩行空間の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光交流センターから遊歩道を散策し温泉街への回遊ルートを形成するため、幅員狭小区間について拡幅改良を行う。</li> <li>・温泉観光地として統一感のある景観を確保するため、路面のカラー舗装や街路灯の整備を行う。</li> <li>・冬期間の通行者の安全と快適性を確保するため、勾配のある道路区間について融雪装置を整備する。</li> </ul>	<p>■市道見附線道路事業(基幹事業/道路/改良)※事業中止</p> <p>■市道坂ノ上下ノ町線外4路線道路事業(基幹事業/道路)</p> <p>■市道杉ノ下3号線整備事業(基幹事業/高質空間形成施設/緑化施設等)</p> <p>□事業効果分析調査(提案事業/事業活用調査)</p> <p>○(主)土湯温泉線整備事業(関連事業/歩行空間整備事業)</p>
<p>②温泉情緒を活かした街なみの形成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・温泉情緒を活かした修景整備を促進するため、街づくり協定などの建築物のデザインに関するルールづくりを行い、民有地における建築物の意匠・形態等を一体となって整備することにより、和を基調とする統一感のある街なみの形成を図る。</li> <li>・温泉街のゆったりとした雰囲気を出出創出することを目指し、解体する空き店舗空間を来訪者がくつろげる空間へ整備する。</li> <li>・土湯温泉町の象徴性を示すモニュメントを協議会を中心とする地域住民と協働で検討し整備することで、これまでのイメージを刷新する街のイメージをつくり魅力の向上を図る。</li> </ul>	<p>□街なみ修景整備事業(提案事業/地域創造支援事業)</p> <p>■ポケットパーク等整備事業(基幹事業/地域生活基盤施設)</p> <p>□ポケットパーク等整備事業(足湯施設)(提案事業/地域創造支援事業)</p> <p>■モニュメント整備事業(基幹事業/高質空間形成施設/緑化施設等)</p>
<p>③歩いて楽しめる歩行者ネットワークの形成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土湯温泉町の観光情報や散策コースを来訪者へ分かりやすく紹介し回遊性向上を図るため、既存サインと連携しながら新たな案内板を設置する。</li> <li>・歌碑公園に平成25年度建立された「皇太子妃雅子殿下」の歌碑までのアプローチ部を高質化することにより新たな散策ルートの拡大を図る。</li> </ul>	<p>■街なか情報板整備事業(基幹事業/地域生活基盤施設/情報板)</p> <p>■熊野神社周辺整備事業(基幹事業/高質空間形成施設/緑化施設等)</p>
<p><b>整備方針2 温泉観光地としての魅力向上と賑わい創出</b></p> <p>①集客拠点施設の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃業した旅館敷地を活用し、来訪者への観光案内や温泉街を一望できる展望台の整備を行い、地域住民と観光客の交流の場として新たな集客拠点の形成を図る。</li> <li>・観光交流センターから直接温泉街へ行く散策回遊ルートを形成するため、温泉街側への昇降施設(エレベーター)を整備する。</li> <li>・災害時の一時避難場所や観光客の憩いの場として多目的広場を整備し、コミュニティバスの発着所としても活用する。</li> <li>・四季折々のイベント等を開催するなど温泉街の魅力を出出創出するため、既存の公衆浴場を建替え改修し併設して観光交流広場を整備する。</li> <li>・既存建物の改修を行い、来訪者への観光案内や休憩所、ものづくり体験施設、多目的スペース、研修施設等の新たな集客施設を整備し、温泉地としての魅力の向上と賑わいの創出を図る。</li> </ul>	<p>■観光交流センター整備事業(基幹事業/高次都市施設/観光交流センター)</p> <p>■多目的広場整備事業(基幹事業/地域生活基盤施設/緑地、広場)※事業中止</p> <p>■観光交流広場整備事業(基幹事業/地域生活基盤施設/緑地、広場)</p> <p>□観光交流広場整備事業(足湯施設)(提案事業/地域創造支援事業)</p> <p>□公衆浴場「中の湯」整備事業(提案事業/地域創造支援事業)</p> <p>■観光交流施設整備事業(基幹事業/既存建造物活用事業)</p> <p>□既存建物改修整備事業(提案事業/地域創造支援事業)</p>
<p>②エコ温泉地づくりの更なる推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エコ温泉地としての更なるアピールのため再生可能エネルギー活用施設の情報発信機能を整備する。</li> </ul>	<p>■温泉熱発電情報板整備事業(基幹事業/地域生活基盤施設/情報板)</p>
<p>③地域主導の賑わい創出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・快適で魅力ある土湯温泉を地域主導で作りに上げていくため、まちづくりへの住民の主体的な参画を促すことが不可欠であり、住民の自主的な取組みに対して活動支援を行う。</li> </ul>	<p>□イベント活動支援(提案事業/まちづくり活動推進事業)</p> <p>□まちづくり活動支援(提案事業/まちづくり活動推進事業)</p>

## その他

### ○まちづくり活動の推進

当地区では、東日本大震災及び原発事故からの復興と風評被害を払拭するため、地元各会の代表で構成する「土湯温泉町復興再生協議会」が発足し、この組織に行政がオブザーバーとして加わることにより「土湯温泉町まちづくり協議会」へ移行し、土湯温泉町の復興再生を目指したまちづくり方針の検討を行っている。今後は、協議会内に組織する各分科会において、目標を達成するための具体的手法や官民が連携した協働のまちづくり等について協議するとともに、既存組織(土湯温泉観光協会、NPO法人土湯温泉町観光まちづくり協議会等)との整合を図りながら、土湯温泉町の復興再生を目指していく。

### ○街なみ形成を誘導する方策

温泉情緒や風情を醸し出す良好な街なみ環境の形成を図るため、交流拠点施設の整備とそれらを結ぶ道路の美装化に合わせ、民有地における建築物の意匠・形態等も一体的な整備を図ることにより、公共空間と民有空間とに統一感のある街なみを形成する。

整備方針については、磐梯朝日国立公園内であることを踏まえて近代和風を基調に全体のコンセプトを協議会を中心に諮りながら景観誘導のあり方を協議し統一感を図っていく。

### ○歴史・文化の伝承と地域の活性化

直江兼続が建立したとされる興徳寺、聖徳太子をお奉りしている太子堂などの歴史資源の活用や、その昔俳諧の地としても知られ俳諧集「温泉八景」に詠まれている土湯温泉の自然と文化の豊かさを地域活動を通して継承し、より親しみのあるものとして地域の活性化を図っていく。

「日本三大こけし」の一つに数えられている素朴であたたかい「土湯こけし」、更には「土湯こけし祭り」や「土湯温泉・がんぼう！プロジェクト」、「温泉街花いっぱい活動」などの地元イベントを通じて、地元と観光客との交流を深め、街の賑わいと活性化を図っていく。